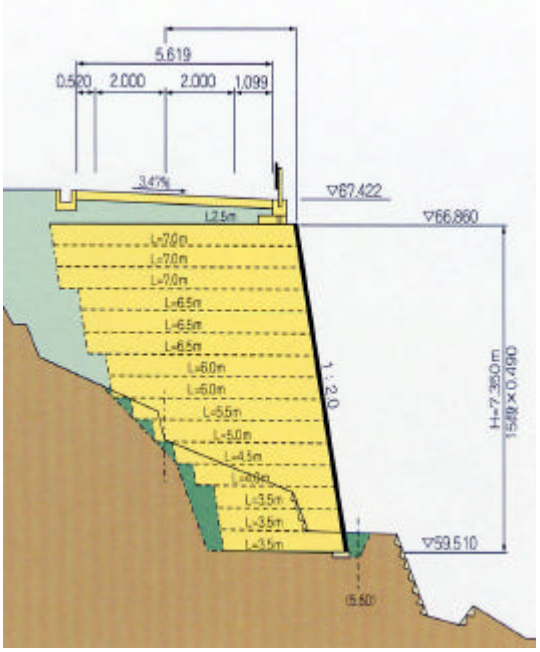
鋼製スリットウォー工法

壁面剛性補強土擁壁

工法について

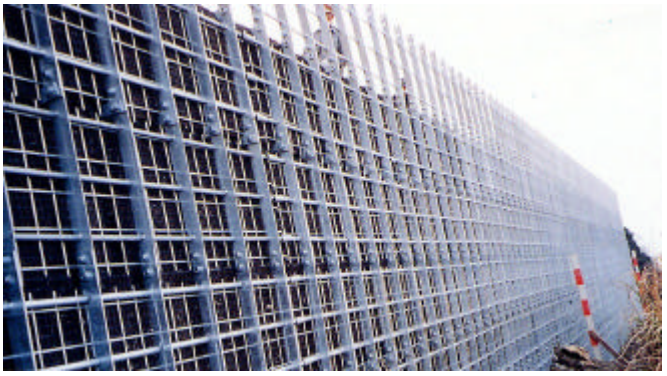
補強土工法は，盛土内に引張り補強材を水平に配置して壁面材に定着させることで盛土の安定性を高め，鉛直あるいは鉛直に近い勾配の法面を構築する工法です。

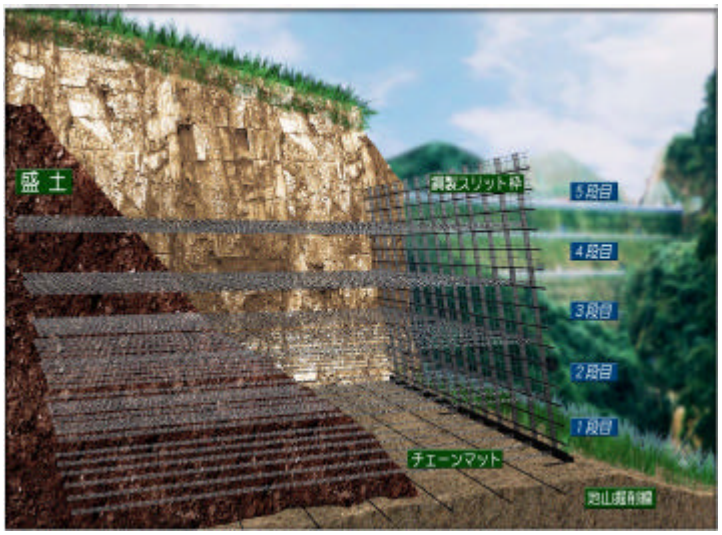
鋼製スリットウォール工法は，鋼製枠をボルトで剛結した壁面とチェーンを主材料とした補強材により，補強領域を一体化した土構造物を構築する工法です。



特徴

- 自然にやさしい緑化工法（壁面緑化）
- 独自の補強効果（高い壁面の剛性，チェーンマット）
- 省力化施工（プレハブ工法）
- 大幅な工期短縮が図られる
- 5分勾配から鉛直壁面の構築ができる
- 基礎地盤の処理が簡単
- 山岳部など施工条件が悪い場合にも施工可能
- 広範な土質の現地発生土が利用できる





村本建設（株）営業本部　技術営業グループ
東京都千代田区二番町３－４
Tel 03－3238－2151　Fax 03－3238－2020
担当　：酢谷　義裕（S51年卒）